

文責 辻 新造

きょういくちょう おすすめ のせのまち シリーズ1

【能勢町 生涯学習センター図書室の魅力】

#能勢のまちの魅力をこれから紹介していきます

●能勢のまちは魅力がいっぱいです。能勢町で行ってみたい場所や知りたいことがらを教育長が「今日行く（きょういく）」とよい「町（ちょう）」のおススメする「能勢のあれこれ」をシリーズで紹介していこうと思います。



笑顔でつながろう

就任して1か月経とうとしています。先日、ずっと前から気になっていた図書室に行ってきました。これまでも何度も建物の中に入ったことはありましたが、本を借りる目的ではなく、会議やイベントなどに参加するだけでした。改めて、本を借りるために入ると、新しい発見がいくつもありました。新しく図書利用カードを作っていただき、利用していきたいと思います。図書室の職員は、とても親切で、丁寧に対応していただきました。小さな図書室ですが、居心地の良い、とても魅力的な空間です。



まず、中に入ると、入口正面には『笑顔でつながろう』の看板が目に入りました。Well-beingに関する本ばかり。「一日の言葉、一生の言葉」「やさしさとおもいやり」「わたしやほんとにうんががいい」など、気になる本ばかりで、思わず手に取ってみたいくなりました。読めば、おのずと笑顔になれる、そんな選書本が並んでいます。



正面左の書棚の下段には、大手新聞各社4誌が並べられています。新聞の読み比べもできます。上段には、趣味、料理、健康、アートカルチャー、農業、園芸、中高生向けのヤングアダルトなどの月刊誌がおかれています。新刊は持出、コピー禁止ですが、その場で閲覧が可能です（バックナンバーは貸出できます）。テレビの教養講座や園芸など、読者の知的好奇心を駆り立てられる情報が満載です。お仕事の合間や子どもの習い事の送迎の合間、あるいは休日などに一度、訪れてみてください。

視線を右側に移すと、大河ドラマ「べらぼう」 蔦屋重三郎にまつわる江戸の文化コーナー特集に関する書籍が並べてありました。大河ドラマを見る人も見ない人も、江戸時代のサブカルチャーが現代までどのように受け継がれてきたのかを知るよい機会になります。この機会に能勢の浄瑠璃の歴史とからめて、考えてみるのもおもしろいですね。



能勢の郷土に関する書籍コーナー



私が一番興味を持ったのは、能勢の郷土に関する書籍コーナーです。数ある能勢に関する書籍の中で、「横浜吉田新田と吉田勘兵衛」という書物を借りました。実は、今年度改定した3・4年生社会科副読本「わたしたちののせ」に横浜港を築いた能勢出身の「吉田勘兵衛」について新規で掲載することにしました。

吉田勘兵衛は、横浜市の小学生ならだれでも知っているくらい有名な人ですが、能勢町ではほとんど知られていません。今回、副読本に掲載することで、子どもたちが吉田勘兵衛を知り、先人の苦労を学び、これからの未来を考える機会にしてほしいと願っています。能勢町郷土史研究会の歴史講座でいただいた資料や横浜市歴史博物館に行っていた資料を参考に原稿を完成させました。郷土史に詳しい方々からお話を聞いたりしながら、子どもたちがどんな学習が展開していくのかとても楽しみです。

「おはなし会」 30年以上の歴史があります

毎週土曜日の11時から11時30分におはなし会が行われています。「土曜日の11時に町の図書室にいったら絵本が読んでもらえる」というキャッチフレーズのもと、絵本の読み聞かせが行われてきています。

「おはなし会」が町の図書室の事業として正式に行われたのは1995年。当時は月2回だったようです。それよりも以前に1991年、当時、森上在住だった河崎初美さんら4組の親子で「家庭文庫トトロ」をはじめられ、土曜日を中心に活動し、徐々に会員数を増やしながら、貸本業務や絵本の読み聞かせの活動を続けておられました。その後、活動が途切れた時期もあったようですが、2016年、学校再編時に読み聞かせグループ「声の宅配便」メンバーも参画されるようになり、現在まで、河崎さん、片岡さん、今西さん、声の宅配便のメンバー、図書館司書が分担しながら、おはなし会の活動を継続してくださっています。

4月は、5日、12日、19日、26日に活動がありました。5月も毎週土曜日開催予定です。能勢町のホームページには、その日に読まれる書名が掲載されています。

対象は、幼児から小学生低学年の子たちと伺っていますが、小学生でも中高生でも大人でも絵本を読み聞かせてもらう時間は、とても気分がよくなり、年齢に関係なく楽しむことができます。大人にとっても気分転換の時間になります。読み手の声色や、絵本の絵や言葉から作者のメッセージが心に響くとき、とても幸せな気分になることもあります。土曜日のお昼前、図書室に来てみませんか？新しい出会いと発見があるかもしれません。



貸室もやっています。安価な利用料も魅力的

2階では貸室をやっています。町内の方は、会議室1時間100円、和室・研修室1時間200円。町外の方、営利目的の方は、それぞれ1.5倍の料金となります。こんなに安価な料金で借りられる場所はないと思います。文化、教育、子育て、健康、趣味、会議などいろんな団体の方々に利用していただいています。

この生涯学習センターでの出逢いをきっかけにして、学びたいことが学べたり、会いたい人と会えて対話を楽しめたり、日常生活のワクワクドキドキにつながり、利用者同士のコミュニケーションやネットワークが広がっていくことを期待しています。

利用案内

●貸出冊数・期間

1人6冊まで 2週間

●開室時間

午前9時～午後5時

●休室日

毎週火曜日（火が祝日の場合は木）

年末年始（12月29日～1月3日）

蔵書点検期間

※詳しくは図書室カレンダーでご確認ください。

●本を借りるには

利用者登録が必要です。能勢町内に在住・在勤の方は、どなたでも登録できます。新規登録は、無料、再発行は100円かかります。

●広域利用

箕面・豊中・池田・豊能・能勢・茨木・吹田・高槻・摂津・島本も含め、北摂7市3町の在住の方は、広域利用ができます。上記市町のどの図書館でも本を借りることができます。

●〒563-0352

大阪府豊能郡能勢町大里178-2

電話 072-734-3365



“

能勢の魅力は無限大。まだまだ知らない「能勢のまち」の魅力をあなたにも伝えたい。そして、ともにつながりたい。あなたと「のせむすび」。むすぶ手と手で 未来を創る！

”